▼OutlookExpress 5.5 以降の設定方法

1.OutlookExpressを起動して、メニューバーの[ツール]から[アカウント]を選択します。



2.[インターネットアカウント]画面が表示されますので、[メール]タブを選択して設定を変更する アカウントを選び、[プロパティ]ボタンをクリックします。

インターネット アカウン	ф. —		? 🔀
すべて メール ニュ・	ース ディレクトリ サービス		追加( <u>A</u> ) 🕨
アカウント	種類	接続	削除( <u>R</u> )
全任意の名称	メール(既定)	使用可能な接続	プロパティの
			AVE(caR/E(D)
			インボートΦ
			エクスポート(匠)
			順番の設定(S)
			閉じる

3.[サーバー]タブを選択し、[このサーバーは認証が必要]にチェックを入れ、「アカウント名」に はメールアドレス全体(\*\*\*@nnet.ne.jp)を入れて[設定]ボタンをクリックします。

📽 任意の名称 のプロパティ 🔹 🕐 🔀			
全般 サーバー 接続 セキュリティ 詳細設定			
サーバー情報			
受信メール サーバーの種類( <u>M</u> ): POP3			
受信メール (POP3)(型: POPサーバ			
送信メール (SMTP)(U): SMTPサーバ			
受信メール サーバー			
アカウント名(C): メールアカウント			
パスワード( <u>P</u> ): ********			
✓ パスワードを保存する(W)			
セキュリティで保護されたパスワード認証でログオンする(S)			
送信メール サーバー			
● 「このサーバーは認証が必要(公)			
OK キャンセル 適用( <u>A</u> )			

4.[送信メールサーバー]画面が表示されますので、[受信メールサーバーと同じ設定を使用する]にチェックを入れて[OK]ボタンをクリックします。

送信メール サーバー ? 🔀
ログオン情報
アカウント名( <u>C</u> ):
バスワード( <u>P</u> ):
☑ パスワードを保存する(₩)
セキュリティで保護されたパスワード認証でログオンする(S)
OK キャンセル

1.MicrosoftOutlook を起動して、メニューバーの[ツール]から[電子メールアカウント]を選択しま

9 o			
言トレイ – Microsoft Outlook			
ル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(Q)	ツ-	-ル(T) アクション(A) ヘルプ(H)	_
規作成(N) → 🎒 🕞 🗙 👷 返信(R) 🕺		送受信(E) 🔰 🕨 🕨	• ∌ ŧ
		送受信の設定♥ ▶	•
		インスタント メッセージ(1)	•
< ジョートカ !! [1] [2] [2]  巻出入	69	アドレス帳( <u>B</u> ) Ctrl+Shift+B	+-
	3	検索① Ctrl+E	α,
iok Today		高度な検索(D) Ctrl+Shift+F	
		整理②	
$\overline{\mathbf{a}}$	2	自動仕訳ウィザード(L)…	
信トレイ		メールボックスの整理 🗵	
	1	"削除済みアイテム"フォルダを空にする(イ)	
		フォーム(E) <b>)</b>	
「定款		マクロ(M)	•
		Web 上のツール(W)	
主格先		電子メール アカウント( <u>A</u> )	
<u>en</u>		ユーザー設定( <u>C</u> )	

2.[電子メールアカウント]画面が表示されますので、[既存の電子メールアカウントの表示と変 更]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

<b>ティメール アカウント</b> Outlook で使用する電子メール アカウントとディレクトリを変更できます	0		
<ul> <li>電子メール</li> <li>新しい電子メール アカウントのi8hn(E)</li> <li>(*) 既存の電子メール アカウントの表示と変更(V)</li> <li>ディレクトリ</li> <li>ディレクトリやアドレス帳の追加(D)</li> <li>(*) 既存のディレクトリやアドレス帳の表示と変更(H)</li> </ul>	>		
	(戻る(8)	(次へゆ)>	

3.設定済みアカウントの一覧が表示されますので、変更をするアカウントを選択して[変更]ボタ

ンをクリックします。

電子メール アカウント		28
電子メール アカウント 選択したアカウントの設定を変更した	たり、削除します。	
以下の順番で各アカウントの電子メ	ールを処理します:	
名前	種類 POD (SMTD /開告)	<u>変更(C)</u>
社想仍名朴	POP/SMIP GADE	追加(A)_
		削除( <u>B</u> )
		既定(2設定(S)
		LA(U)
		下へ(0)
」 新著電子メールの配信場所(N): 個人用フォルダ	▼ 新規の Outlook データ ファイル(Q)_	
	〈 戻る(8)	完了 キャンセル

4.[インターネット電子メール設定]画面が表示されますので、「ユーザー名」にメールアドレス全体(\*\*\*@nnet.ne.jp)を入れ、[詳細設定]ボタンをクリックします。

電子メール アカウント	? 🛛
インターネット電子メール設定(POP3) 電子メール アカウントを使用するには、以下の項目を	すべて設定してください。
<b>ユーザー情報</b> 名前(Y): お客様のお名前 電子メール アドレス(E): メールアドレス	サーバー情報 受信メール サーバー (POP3)(0): POPサーバ 送信メール サーバー (SMTP)(0): SMTPサーバ
ログオン情報 ユーザー名(山): メールアカウント パスワート(セ): F*******	設定のテスト この画面内に情報を入力したら、アカウントのテストを行うことをお勧めしま す。テストを実行するには [アカウント設定のテスト] をクリックします (ネット ワークに接続されている必要があります)。
「レスワードを保存する(R)     「レキュリティで保護されたパスワード認証     (SPA) でログオンする(L)	アカウント設定のテスト①
	< 戻る(B) 次へ(10)> キャンセル

表示された画面で[送信サーバー]タブを選択して、[送信サーバー(SMTP)は認証が必要]と[受 信メールサーバーと同じ設定を使用する]にチェックを入れます。

インターネット電子メール設定	? 🔀
全般 送信サーバー 接続   詳細設定	
送信サーバー (SMTP) は認証が必要(O)	
● 受信メール サーバーと同じ設定を使用する□	
○ 次のアカワントとバスワートでログオンする(!)	_
ユーザー名(N):	
パスワード( <u>P</u> ):	
□ セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) で ログオンする(S)	
○ メールを送信する前に受信メール サーバーにログオンするΦ	
	עשייי

[完了]ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

1.Becky!を起動して、メニューバーの[ツール]をクリックし、[メールボックスの設定]を選択します。



2.[詳細]タブを選択して、[サーバーのポート番号]の[SMTP]の値を"587"に変更します。[SMTP 認証]にチェックを入れ、[CRAM-MD5]を選択します。[ユーザ ID]にお客様メールアドレス全 体(\*\*\*@nnet.ne.jp)アカウントを、[パスワード]にメールパスワードをそれぞれ入力します。

	[任意の名称]の設定	×
	メールボックス名 🛛: 任意の名称	
	基本設定接続 メール作成 受信 詳細	
	←サーバーのボート番号	
4	SMTP: 587 (標準: 25)	
	POP3: 110 (標準: 110) ユーモーID(U): メールアカウント	
	IMAP <u>4</u> : 143 (標準: 143) パスワード( <u>O</u> ): ***********	
	※省略時は受信用のIDとパスワードを使用	
	POP before SMTPを使用>POP3認証後 300 ミリ秒待つ	
	○この相をサーハー上に置く① この相切ファイル・名(N): ITash	-
		4
	□ 返信済みをサーバー上に置いせ 返信済みのノアイル沿し、 Sent	
	山北浜ホーム人ペースをフォルダ表示(日)	
	プロファイル(R): (標準) 「新規(W) [削除(D)_ 取込(	0
	びローバルプロファイル(Q) OK キャンセル ヘルプ	

変更が終わりましたら、[OK]ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

## 2007年4月23日(火)以降の受信方法

2007 年 4 月 23 日以降にまだ未受信のメールがある場合は、2007 年 5 月 14 日までは、受信サーバー(POP3)を IP アドレスで指定することにより、受信が可能です。

▼通常メール(\*\*\*@nnet.ne.jp)の場合 POP3 用 IP: 210.239.8.210



\*旧サーバーにはSMTP-Authがかかっていませんので、「送信サーバーは認証が必要」のチェックは はずしてください。

▼セカンドメール(\*\*\*@iwate4u.net)の場合 POP3 用 IP: 210.239.8.209



\*旧サーバーにはSMTP-Authがかかっていませんので、「送信サーバーは認証が必要」のチェックは はずしてください。